

一般質問 2 町田市防災会議のメンバーにまだ土木建設の現業団体は加えられないのか（要旨）

そもそも防災会議とはどういう組織か、初めて「AI」で調べてみると、「町田市防災会議は、災害対策基本法に基づいて設置された機関で、町田市地域防災計画の作成や実施の推進、市長の諮問に応じて地域にかかる防災に関する重要事項の審議などを目的としています。」

町田市地域防災計画は、災害対策基本法第 42 条と町田市防災会議条例第 2 条の規定に基づいて作成されています。」

というものでした。大変便利なものでした。

つまり、その目的に市長の諮問に応じて防災にかかわる重要事項の審議などを目的にするにあり、その参加メンバーは、そもそもそれに加わる機関や団体の関係者と、市長が認めた機関の関係者や個人で構成されていると認識される。

そこで尋ねるが、

- (1) 町田市防災会議のメンバー構成は
- (2) (1) のメンバー構成にこれまでどのような変更があったか
- (3) 土木建設の現業団体が加えられない理由はどこにあるのか、当事者が固辞しているのか
以上に関して、具体的に答えてもらいたい。



水防訓練、来賓席の後方に座り、前方を撮影。消防所長・市長・消防団長の順。

<再質問>

2 町田市防災会議のメンバーにまだ土木建設の現業団体は加えられないのか

町田市防災会議のメンバー表を資料添付しているので、参考で見てもらいたい。
議員は議長と常任委員長、及び災対委員長がメンバーなので、私は総務委員長の時代と議長の時

代にその中にメンバーとして入っている。2期目の委員長と6期目の議長の時に入っているが、それ以外は全くないので、半ば無縁です。この議場のメンバーも、過去に常任委員長や議長、災対委員長でメンバーになった時以外は当事者として知ることはない。副議長ですらメンバーに入っていない。

このメンバー構成を見て問題があると思い、自分の議長任期が終えた平成30年に、土木建設の現業団体分野のメンバー構成の参加を求めたが、その効果はいまだ発揮されていないと考えた。

この質問は、平成30年の一般質問で取り上げたもので、いざ災害となれば、現場復旧、ライフラインの復旧は最も重要な業務の一環であり、精神論ではかられない内容である。

私はこれまでにメンバーに入っているものと思っていた。最近、その一覧表を見れば、土木建設の現業団体は全く見当たらない。

この方々は、災害対策の計画や構想には、総合的な立場では発言も関与せず、市の言うこと、決定についてくれ良いと言うのが、町田市の発想だろうか。

再度、尋ねたい。

誰が、重機やそのオペレーターを確保しているのだろうか。





水防訓練の行事 建設業協会の手配した重機やトラック

自分は、30歳前半、土木建設資機材の販売会社にいた。一般の営業のほか、災害時や、災害予想時には、いつでも緊急発注品を、社内や仕入れ先で確保し、現場に届けるのが仕事であった。

防災会議のメンバーには、他方で、医業は、医師会、歯科医師会、さらに、薬剤師会と獣医師会までメンバーになっているバランスはどうだろうか。こうして具体的に指摘したが、それでも、地元町田市の土木建設の現業団体の代表者がそのメンバーに加わることに、どのような障害があるのか、見解を求めたい。

<答弁>

水防訓練や防災訓練の打ち合わせを通じて、建設業協会の皆さんとは協議をする場を設定している。

また、災害時の体制については、建設業協会とは協力をいただく協定を結んでおり、常に連携ができています。

<再々質問>

行政機関は、土木建設の現業団体と話し合いの場があると考えているが、それは自分たちの都合だけで主張であり、防災体制構築全体の中で、土木建設の現業団体、多数の地元企業

がどういう社会関係の中にあるかを見つめなおすことが、いざ、災害が起きた時になにが重要で、復旧・復興に誰が関与しているかを再認識するものである。



見解とさらに問う立場であったが、町田市の行政や理事者は冷淡であった。防災会議のメンバー表から見ると、町田市は綱吉の政治を強いているかのように、建設業の厳しい意見の方によれば、町田市の理事者は犬公方と言われる声もあるようだ。